

【W13】「間(あわい)に在る命の響きあいを考える—music therapists の mission とは?—」

【講師】米倉 裕子

【要旨】

日本の文化の中における「間」の概念は大変に幅広く興味深いものがあります。しかしながら身近なものに目を向けますと、私たちの生活の中には、空間、時間、人間などの様々な「間」が存在しています。そして、私たち音楽療法士がクライアントと対峙する際、もちろんそこにも「間」が存在しています。十分な「間」がないことで動くことができなかつたクライアントも、音楽療法士とのほど良い「間」の存在によって、自分主体の物語の語り部になることがあります。「間」に揺蕩うクライアントが吐露してくださる言葉たちを集めてみると、それは間違いなく世の中に唯一無二の物語であり、そしてその物語が音楽と出逢った瞬間、クライアントの気持ちが沸き立つことがあります。私はその瞬間を Narrative meets Music と呼んでいます。

この講座では、緩和ケアという場を中心に据えて進めていくことを考えていますが、緩和ケアという現場に限らずとも、クライアントの人生も、わたしたちの人生も、どちらも生を受けてからそれを全うするまでの間に揺蕩う命であることを前提に、いつも命の響きあいにもつれているわたしたち music therapists はクライアントにとってどのような存在であるべきなのか、わたしたち music therapists の mission とは果たして何であるのか、を、受講者同士によるグループワークから導き出される言葉をベースに、ディスカッションを交えながら様々な視点から考えてみたいと思っています。

【プロフィール】

大学で教鞭をとる傍ら、総合病院において緩和ケアを中心とした音楽療法を实践。また、地域における活動では、対象者を選ばないコミュニティ音楽療法「あらゆる人に生涯音楽プロジェクト MLAP」の継続的な実践により、2022 年度一般社団法人日本音楽療法学会第 2 回日野原賞活動部門受賞。MME(Master of Music Education)、日本音楽療法学会認定音楽療法士。